

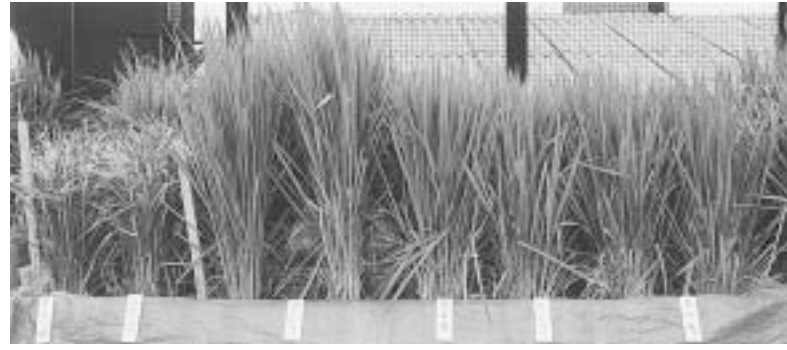
出版ダイジェスト

社団法人 出版協会 出版ダイジェスト社
http://digest-pub.net
毎月3回(1日・11日・21日)発行 購読料1ヵ年=送料共1,575円(税込)
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-13ラフィネオ茶の水805 電話03-3292-2323 FAX03-3292-2325

【本号の内容】 2 面 子 ども 農 業 活 験 活
動 コ ン ク ー ル 賞 事 例 の プ ン 業 験 活
習 実 践 レ ン 受 賞 タ 事 例 の プ ン 業 験 活
4 教 育 絵 本 品 加 工 本 地 域 密 着 7
激 す の 調 べ 学 習 タ べ ス の 誕 生 ビ ジ ュ
際 理 解 ・ 環 境 ・ 歴 史 社 会

農文協特集 食農教育 体験と調べ学習

農文協事務所屋上のミニ田んぼ。7月29日、左は「きらら397」の穂が黄色くなってきた。右は「ほしのゆめ」の穂が黄色くなってきた。



「赤坂田んぼ」で大発見!?
おとこの春のことだが、東京は赤坂にある農文協の事務所、四階建てのビルの上層に、小さな田んぼをつくった。おおよそ四畳ほどをブロックで囲い、角材を乗せて四隅を固定してから、青いビニールシートを全体にかぶせ、土を入れて、「赤坂田んぼ」を開田した。これは、「この田んぼでイネの生育を追い、写真でわかるほどのイネづくりに、全五巻にまとめよう」という企画のためである。



開花後5分。ポツとからが開き、雄しべが外にのびてきた。

夏休み前にイネの花見をしよう

関東以南の学校向け「北海道のタネもプレゼント」食農教育2003春のキャンペーン

北海道の品種である「きらら397」「ほしのゆめ」、それに「コシヒカリ」「日本晴」、九州の「ヒノヒカリ」、さらに古代米も。プランターで苗を育て、植えたのは六月一日。
超早い出穂なぜ?
六月も下旬になると、ほとんど分けつして、茎の数が増えてくる。茎数を数えていた担当者がおやつと思う出来事があった。
六月二日、北海道の「ほしのゆめ」と「きらら397」の葉のサヤがふくらんでいる。ちよっとサヤをむいてみると、なんと白っぽい穂がのびてきている。
六月五日、ついに草丈の長いものからとどん穂が出てきて、日が高くなると次々に花が咲いてきた。
北海道では普通、ほしのゆめが出穂するのは七月下旬から八月はじめ。きらら397はそれより一週間遅れると

東京国際ブックフェア

農文協展示コーナー

「ふるさと力」の時代

4月24日～27日(日) 東京ビッグサイト
食農教育関連書籍・ビデオ多数展示販売。楽しい展示企画もいっぱい。ふるさと家庭料理キッチン教室(実演・試食) 開府四百年・日本のふるさとに江戸時代にあり 中国・アジアのふるさと力、など

北海道のおコメの種も無料配布

いかに早くイネの花見を観察させたい。このイネの花見が、お米が実るといことを実感させたい。そんなときは、北のイネを植えばよい。自分の地域に植えてみて、確かに夏休み前に穂が出るのか、子どもたちと一緒に確かめてみるのも面白いだろう。地元のイネと生育を比べてみれば、その性質のちがいがわかるはずだ。

北のコメの種プレゼント

書籍編集担当者の「大発見」、北のイネの早い開花を、もっと多くの子どもたちに体験させたい。そう考えたのは、同じ農文協の雑誌「食農教育」の編集部だ。

「きらら397とほしのゆめ」を分けてくれるところはないだろうか? 北海道札幌市の東、米どころ石狩平野にあるJA新しのつ(篠津)に相談した。JA新しのつ宮田勇組合長は、バケツイネづくりを全国の学校にすすめているJA全中(全国農協中央会)の会長でもある。

編集部のお願いは二つ返事でOKになり、きらら397とほしのゆめの種を各30キログラム。これを一袋、約120粒(バケツイネ30個分)に分けて、編集部では、この小袋(きらら397とほしのゆめ各1袋)を希望者にプレゼントすることに(応募資格は本紙3面参照)。この夏、子どもたちと一緒にこの神秘的なイネの花見を体験してもらいたい。

【追記】農文協刊「写真でわかるほしのゆめ」(全五巻)はスグにのりから、田植えと育苗・稈りと種り入れ・料理と加工・学校田んぼのおもむきまで、写真と絵を中心にわかりやすくまとめた。この「コメの種」と合わせて、イネ体験学習に活用いただきたい。(A判、各40頁、各1890円、揃い9450円)

日本の原風景

地方野菜大全

各地の風土のなかで育まれた味や形が個性豊かな地方野菜600余種を収録。特徴、栽培法、食べ方、種苗入手先などを写真入りで紹介。●6300円

都道府県別
タキイ種苗出版部
編集 芦澤正和 監修 藤原隆

農文協 東京都港区赤坂 7-6-1(価格税込)
03(3585)1141/FAX 03(3589)1387
http://www.ruralnet.or.jp/

「写真で綴る」昭和30年代農山村の暮らし

信州八ヶ岳山麓の農民が被写体の心に入り込められた写真で、昭和30年代の農山村の暮らしを、貴重な写真で綴る。写真・武藤 功 聞き書き・須藤 隆 聞き書き 6500円

「勉強が嫌い」の治し方

今村栄三郎著(医学博士)
★みるみる勉強好きになる知能革命
工夫ひとつで「勉強」がこんなに楽しくなる。子供の勉強が嫌いになる原因を、親たちが必読の虎の巻。好奇心の育て方もあわせて解説。1350円

「赤ちゃん」の進化論

西原成成著 ★子供を病気にしない育児の科学 人は生まれてからも進化を続ける。その成長に合わせてた育児を提唱。1400円

東京・港・赤坂九(価格は税別) 日本教文社 03(340)1911
http://www.kyobunsha.co.jp/

「一日一書」待望の第二弾!

一日一書02

石川九揚著
中国と日本の書跡より「書」を選び、文化・芸術から時事問題まで、その日にちなんだ話題をともに紐に載せる。B6判変型 392頁 1800円

ほっとする禅語70

監修 渡会正純 書 石飛博光
前代未聞、人にやさしい禅の教え。七十の言葉で心に響く知恵を説く。気鋭の書家が書きた安らぎの一冊。B6判変型 160頁 1000円

二玄社 東京都文京区本駒込6-2-1(価格税別)
Tel.03-5395-0511 http://nigensha.co.jp

持続的農業農村の展望

祖田 修監修 新しい農業の可能性 農村の多元性を追求す 八二〇〇円
石原 潤編 農村を空間の視点から 多様な豊かな53論文 音八〇〇〇円
山村地域開発論 西野寿雄著 増補版 山村の現状を 解析し、将来へを問う 三三〇〇円
宮川 健治著 改訂版 地域づくりや 農村活性化への新提言 二八〇〇円

地域を活かす

中野野著 豊富なデータをもとに 在米・新興宗教を分析 三〇〇〇円

戦後日本の宗教と政治

浮田典良編 改訂版 2800円
最新 地理学用語辞典 千代田区神田小川町3 03-3291-2374 税別価格

たべもの起源事典

岡田哲編 料理名や材料・言葉など、四〇〇を収めた由来や起源を探る各紙が絶賛。三六〇〇円

季節の366日話題事典

倉原著 一日ごとにその季節にふさわしい話題を解説。二六〇〇円

ペットの心

清水孝子 犬猫ウサギを初めての人にも役立つイラスト入り手引 一六〇〇円

日本のハーブ事典

村上精編 身近な伝統ハーブ70種の活用法や植物情報を盛り込む。二四〇〇円

花の力

心のパワースの扉を開く花で癒す。四九〇〇円 価格税別

東京堂出版 東京都神田区神保町1-17 03 3233 3741

子ども農業体験活動「コンクール2002」

一人ひとりのこだわりを表現

ユニークなバケツ稲栽培とアイガモ・稲三同時作

農林水産大臣賞を受賞した東京・青梅市立河辺小学校の実践

「農業体験」といえば、比べ、稲ワラ、郷土料理など大きな田んぼや畑で、子どもを素材に、さまざまな授業を展開することができるといわれているところを想像するかもしれない。ところが、二〇〇二年度に行なわれた「子ども農業体験活動コンクール」で農林水産大臣賞を受賞したのは、意外にも住宅地のごまんとにあり、しかも一人一人のバケツ稲栽培のユニークな実践が、その中から選出された。場所も人材も乏しいからと、都会での食農教育をなさなければならない。たまたま、水やり、水道水では、プールに使用される水を使い、ある子は浄水器を通した水を使い続けている。また家で魚を飼育している子は、「汲み置き水」を使ったり、さらには、山間部に

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

「食糧事務所の出前講座」として育てられた、子どもたち一人ひとりのこだわりを表現した。結果、三等が三五人、二等が四人、食糧事務所の職員さんからは、今年夏の高温がたまたま東京の場

たそだ。

「三」アイガモ稲作

そして、もう一つ。河辺小学校での個性的な取り組みが、ミニ・アイガモ稲作。稲づくりを取り組むにあたり、アイガモの除草・害虫駆除効果はバツチリ現わ

命をめぐる議論が白熱。二期には、動物の命に

「JA部門」JAみやぎ仙



ペランダで大きく育ったチョコボ

子ども農業体験活動「コンクール2002」の受賞団体紹介

学校内外の農業体験活動

の推進・支援をはかるた

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

「JA部門」JAみやぎ仙

農文協「総合的な学習の時間」の総合誌

食農教育

毎月刊(年7回・偶数月・増刊号)、A5判・160頁・定価800円(〒1200円)年間購読料5600円(〒サービス)

「社会人先生」との連携を鍵に「地域と結ぶ実践」を紹介

食・農・地域というキーワードの連関のなか「総合的な学習」の姿が見えてきた。全国の先行的な事例をとおして地域と連携した深い学習を深める実践情報交流誌。

【2003年5月号・No.27】 800円

特集・地域みんなが校庭改造

大胆改造術 校庭の裏地に八木田が隠る。校庭の小川づくり。ほか、フチ改造術 食草を植えてチョコボを呼ぼう。校庭のタネのいるいる。ほか、授業活用術 校庭の四季をまるごと味わう。ほか

教材への切り口 カイコ

【JA部門】JAみやぎ仙

南角田地区青年部(宮城県角田市)『目黒区との交流事業』

子ども農業体験活動コンクール2002受賞団体の活動内容については農文協のホームページをご覧ください。

http://www.ruralnet.or.jp/ai/ken2002/index.html

総合的な学習

CD ROM

教科書のない「総合的な学習の時間」をどう組み立てていくか 事例1900と食・農・自然・環境学習の基礎情報を収録。 26250円

クリックしていくだけで、誰でも的確な情報へいきつける「ガイド機能」(学習素材別、フィールド別など)付き

「収録情報」雑誌「食農教育」19号分、「自然教育活動」43号分、「現代農業」連載「親子で発見・驚き農業実験」など、農業高校用教科書11教科、単行本、学校の栽培便利帳、「学校の観察実験便利帳」、「おもしろい食生活」食べもの加工」など、食生活推進コンクール、子ども農業体験コンクールの応募・収集事例649例、など

【注文は】 農文協(社団法人 農山漁村文化協会) 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 TEL.03-3585-1141 FAX.03-3589-1387 振替00120-3-144478 URL http://www.ruralnet.or.jp/ (価格は税込)



はさみで収穫

蜻自分の米づくりへのこだわりを米袋に表現しアピールする

高学年が低学年の野菜づくりをバツグンに 「ものづくり」でも成功!

雑誌『食農教育』より

福岡・鞍手町立室木小学校の実践

ダイコンをめぐる 多彩な調べ活動

一年前の『食農教育』誌(二〇〇一年三月号)で、福岡の鞍手町立室木小学校を取材した。ちょうど、大根サミットを目指して、三・四年生二六人が自由闊達な調べ活動を行なっていたところだった。

青首ダイコン、白首ダイコン、二十日ダイコン、桜島ダイコン、聖護院カブ、聖護院ダイコン(守口ダイコン)はさすがにタネを入手できず、一・八五mもある長い根の模型をつくらしたりしていた。たくさん育てていた品種を集め、生育の違いを調べたり、日陰と日向、花壇と砂場での生育観察を

冬のトマトに チャレンジ

その後、子どもたちはどうしているかな? と思っていた矢先の昨年九月、福岡からこんな手紙がよせられた。

「学校園でトマトの苗が育っているのを見つけた。これから育てたいので、冬にトマトは育つの花壇と砂場での生育観察を



田代くん(左)と大丸くん(右)は物干や古ぼくまで即席ビニールハウスをつくって桜島ダイコンを栽培。(二年前の実践から。『食農教育』二〇〇一年三月号より)

低学年の農園活動を 六年生が取材

さっそく、担任の桜木陽子先生にうかがうと、興味深い答えが返ってきた。六年生にもなる栽培にもなれて、中学年のころのような新鮮な驚きがなくなってしまう。そこで、今度は少し角度を変えて学校園とかわったのだという。

六年生が低学年・中学年から特定の取材対象を決めて、二学期の四月をきっかけにその子の野菜づくりを追いかける。新聞や絵本など、自由な形でそれをまとめ、六年生を送る会」で

『食農教育』

隔月(年7回) 1・3・5・7・9・11月号+増刊号、A5判、定価800円、年間購読料5600円、「総合的な学習の時間」の総合誌。地域と連携した深い学習、実践事例、教材を豊富な図解で紹介。

バケツ稲をコアにした 総合のカリキュラムづくり

『食農教育』二〇〇三年四月増刊号 「バケツ稲 12カ月のカリキュラム」

バケツ稲は、近くに田んぼがないところでも、一粒の種モミから稲が成長し収穫、調理するまでの全プロセスを手軽に体験することができ、河辺小の実践の通り、学校園のある場合でも、バケツ稲の栽培と組み合わせること子どもたちの稲とのかかわりはぐっと深まる。

このバケツ稲づくりから広がる総合的な学習の時間の一年間の授業プランを提案するのが『食農教育』四月増刊「バケツ稲 12カ月のカリキュラム」。もともとは、河辺小をはじめ全国二〇校の実践である。このカリキュラムを見ると、小さなバケツ稲から、水田の環境や稲の生育、メタカヤスズメなどの生きものとの関係、米ぬかやワラなど稲の文化、地域の人の暮らしや歴史など、大きな学習の扉が開けていく。読者からは、「バケツ稲をコアにしたい本、高校でも使える」という声も寄せられている。

この授業プランを、各学級・学年・学校や地域の実態にあわせてア



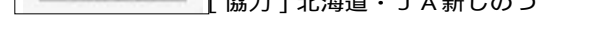
『食農教育』二〇〇三年四月増刊号「バケツ稲 12カ月のカリキュラム」

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1月	稲の種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
2月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
3月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
4月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
5月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
6月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
7月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
8月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
9月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
10月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
11月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別
12月	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別	種モミの観察と選別

北海道のタネモミプレゼント要項

雑誌『食農教育』の定期購読者で、ご希望の方。送料120円分の切手を同封して申し込んでいただく。新しく『食農教育』の年間予約購読を申し込まれる方、または「写真でわかるぼくらのイネづくり(全5巻)」を購入される方。送料サービスで小袋をお届けする。

東京国際ブックフェア2003「農文協ブース」来場者には、小袋を無料で頒布する。フェアの開催は、2003年4月24日(木)から27日(日)、東京ビッグサイトで。
【問合せ】〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 (社)農山漁村文化協会内「北海道のタネモミプレゼント」係
電話03-3585-1144 F A X 03-3585-6466
HPよりの申込み: <http://www.ruralnet.or.jp>
【協力】北海道・JA新しのつ



ラッカセイを育てて みませんか? タネをプレゼント!

昨年大変好評でした。今年もラッカセイのタネをプレゼントいたします。応募多数の場合は抽選になります。

応募方法・満住所・氏名・ご家族で、大いに育てる(学校名・担当者名)・電話番号・Eメール 濃希望体験してください。このラッカセイは、千葉県産の落花生主産県産協議会よりご提供いただきました。品種名は「千葉半立(ちばはんたち)」といいます。ゆで豆料理に適したラッカセイのことです。このラッカセイを育てて、ゆで豆料理や「豆腐」を作ってみるのも面白いかもしれません。育てた感想や絵・写真などを、ぜひ、農文協までお送りください。インターネットほかでご紹介いたします。なお、今年はその栽培体験をレポートいただける方一〇名様に落花生主産県産協議会から「そだててあそぼうラッカセイの絵本」

農文協の教育雑誌

定期購読受付中

保健室

保健室だから見える、教室では見えない子どもたちの本当の姿。養護教諭からの発信。編集・全国養護教諭サークル協議会/隔月刊、A5判、700円、年間4800円

【105号・4月】特集・いま健康診断を考える

健康診断政策の動向と「プライバシー」問題/子どもや親に還元できる健康診断をめざして/色覚検査改定を受けて教師に求められること/「健康診断の見直し」の最終報告にどう向かっていくか/データから見えてくる「健康診断」の問題点

700円

技術教室

「ものづくり」から社会や生活を見詰め、生きる力を育てる教育を追究。唯一の技術・家庭科専門誌。編集・産業教育研究連盟/月刊、A5判、720円、年間8640円

【4月号】特集・「ものづくり」を変える情報活用

「総合」との相互補完で効果アップ/生活に密着した情報教育とは/1人1台で「情報とコンピュータ」を活性化/中・高一貫の情報教育の取組み/こんなに楽しいIPCの授業/中学3年間を通した「情報」への取組み/JavaScriptプログラミング授業

720円

初等理科教育

実践例豊富な小学理科の総合専門誌。子ども理科離れに危機感を持つ仲間たちの情報交流。編集・日本初等理科教育研究会/月刊、B5判、700円、年間8400円

5月増刊号 子どもがのびのびと 楽しい理科の導入の工夫

【巻頭インタビュー】田中耕一さん(ノーベル化学賞受賞者)が受けた理科授業 恩師 澤村誠さんに聞く/【3年】植物をそだてよう、日光とかけ他【4年】季節と生き物、星の動きかた、電気のはたらき他【5年】植物の発芽と成長、流れる水のはたらき他【6年】ものの燃えかたと空気、水よう液の性質他

2000円

【注文は】 農文協(社団法人 農山漁村文化協会) 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 TEL.03-3585-1141 FAX.03-3589-1387 振替00120-3-144478 URL <http://www.ruralnet.or.jp/> (価格は税込)

『ダイズの絵本』の読書感想文が内閣総理大臣賞受賞

命をそだて命から学ぶ「食農教育」絵本＝「そだててあそぼうシリーズ」



内閣総理大臣賞を受けた松岡清平君。(なおこの松岡君の感想文は「食農教育」2003年5月号に掲載されています。)



「そだててあそぼう」既刊45巻、新刊10巻4月完結。A B判上製、各36頁、各1890円

応募四百編の中から受賞第48回青少年読書感想文全国コンクール主催 毎日新聞社で、農文協発行の『そだててあそぼう』ダイズの絵本の感想文を書いた小学2年の松岡清平君が、小学校低学年の部で最も高賞である内閣総理大臣賞を受賞した。感想文のタイトルは「ぼくももうせん」である。昨年で48回目になる伝統あるコンクールで、409万4438編の応募の中から、みごと受賞したものである。

また、「同じ『そだててあそぼうシリーズ』の『トウモロコシの絵本』がサントリー奨励賞、さらに課題図書『カブトエビの寒い夏』の感想文が学校図書協会の会長賞とサントリー奨励賞を受賞し、農文協発行書籍の感想文が合計4作品受賞した。1作品でも入賞を出した出版社40社のなかで、9番目の入賞数である。

これまで読書感想文の対象にされてこなかった、こうした農業絵本あるいは園芸絵本が取り上げられ、しかも上位に入賞してきているというのは、「総合的な学習の時間」による体験学習や調べ学習で、学校教育が大きく変わってきたこと、読書感想文コンクールの審査長の対崎奈美子氏は「学校図書館」2003年2月号の「中央審査評」のなかで「優れた作品のなかでも最優秀と審査員の意見が一致し内閣総理大臣賞に輝いたのは、2巻で、秋田県の2年生松岡清平君の作品『ぼくももうせん』である。『ぼくは、とうふや』から宣言し、ダイズの絵本

教室と畑をつなぐ

「そだててあそぼう」ビデオ版、新登場!

「総合的な学習の時間」の導入によって、学校農園でさまざまな野菜を栽培する機会が増えました。失敗せずに野菜をそだてたい!そんな現場の想いに応えるビデオができました。その名も「ビデオ版『そだててあそぼう』第1集」です。好評の絵本「そだててあそぼう」シリーズのビデオ化ですが、単純に絵本が動画になったというだけではありません。その特徴を以下に簡単に述べることにしましょう。

【特徴その1】最初の10分ほどは「紹介編」です。栽培するにあたり、まずはその野菜の魅力を知ってもらおう、というのがこの「紹介編」の中心です。なんと「食」をテーマの中心に「食べる」と「畑の下準備や栽培計画防

物や家畜の不思議な世界、食への楽しみ、楽しい食べ方、加工法、利用法、実験・作物の変化の不思議、おもちゃの実験、歴史・文化・先人の知恵が見えてくる

「そだててあそぼうシリーズ」の著者は各作物や野菜の研究をライフワークにしている、トップクラスの方々ばかりである。作物や家畜の魅力や面白さ、長年の研究のなかで発見した、教えられたことを伝えたいと、大変な熱意でこれまでに蓄積の全てを子どもたちにぶつけることで一冊

「そだててあそぼう」既刊45巻、新刊10巻4月完結。A B判上製、各36頁、各1890円



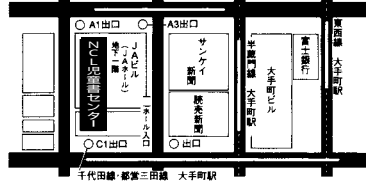
「ビデオ版・そだててあそぼう」第1集・全5巻 満トマト満ナス満ジャガイモ満トウモロコシ満ダイズ・エタマメ VHS、各30分、各9975円、揃価49875円

農文協 学校園のテキスト

- 農と食の文化誌**
- 江戸・東京 農業名所めぐり
 - 江戸・東京 農産物の歴史
 - 江戸・東京 暮らしを支えた動物たち
- 既刊45冊**
- トマトの絵本
 - ナスの絵本
 - ジャガイモの絵本
 - トウモロコシの絵本
 - イネの絵本
 - ムギの絵本
 - ソバの絵本
 - ダイズの絵本
 - ワタの絵本
 - キュウリの絵本
 - カボチャの絵本
 - メロンの絵本
 - イチゴの絵本
 - ラッカセイの絵本
 - ヒマワリの絵本
 - ケナフの絵本
 - アイコの絵本
 - カイコの絵本
 - ニワトリの絵本
 - 21ダイコンの絵本
 - 22ヘチマの絵本
 - 23コンニャクの絵本
 - 24サトウキビの絵本
 - 25ヤギの絵本
 - 26キウリの絵本
 - 27スイカの絵本
 - 28ヒジキの絵本
 - 29ヒヨウタンの絵本
 - 30カキの絵本
 - 31ブルーベリーの絵本
 - 32キャベツの絵本
 - 33ナタネの絵本
 - 34アサガオの絵本
 - 35シイタケの絵本
 - 41ニンジン
 - 42ミズナ
 - 43ヘチマ
 - 44キウリの絵本
 - 45ブドウの絵本
 - 36〜40土の絵本

2003年新刊

- そだててあそぼう**
- 育てる食べる調べる 食農教育絵本
- いのちを育む喜び、喜び、食べる楽しさ、農と食の体験を学びに深める総合的学習絵本。栽培・飼育、料理、加工、工芸から歴史や文化誌までイラストでわかりやすく描く。A B判、上製、各36頁、小学校低学年から
- 第11集**
- 51 ニガウリ(ゴーヤー)の絵本
 - 52 オクラの絵本
 - 53 アワ・ヒエ・キビの絵本
 - 54 リンゴの絵本
 - 55 ミカンの絵本
- 第10集**
- 46 ビーマンの絵本
 - 47 ホウレンソウの絵本
 - 48 アスパラガスの絵本
 - 49 プタの絵本
 - 50 チューリップの絵本



交通 / 地下鉄・丸の内線大手町駅
から1分、JR東京駅から徒歩で15分
くらい
住所 / 千代田区大手町1の8の3
JAビル地下1階 電話03(3245)
7647 FAX03(3270)2800

JAビル近くの社会見学施設のご案内

『駅のお米ギャラリー東京』
東京駅八重洲中央口改札内
開館時間 9時~21時
お米とごはん食の情報冊子の配付
お米・お米加工品等の展示・販売
プラズマディスプレイ パネル展示
『読売新聞社』
営団地下鉄東西線・千代田線・丸の内
線・半蔵門線、都営地下鉄三田線大手
町駅 徒歩1分
見学案内 / 2週間前までに電話で。予約
状況により希望に添えない場合あり
料金 / 無料
営業時間 / 見学時間は11時15分~、12
時30分~、13時45分~の1日3回 所用
時間約1時間
休業日 / 土曜・日曜・祝日
取材から「印刷」までのビデオを楽

しんだ後、コンピューターによる紙面
大組や高速オフセット輪転機の作業現
場を見学。
『ていぱーく』(通信総合博物館)
営団地下鉄各線大手町駅徒歩1分
JR東京駅丸の内北口徒歩10分
見学案内 / 要電話予約。観覧所要時間
は1時間~1時間30分。
料金 / 中学生 50円 団体割引有り
営業時間 / 9時~16時30分(金曜日に限
り~18時30分 いずれも入館は30分前
まで) 休業日・月曜日(祝日の場合、
翌日)
通信情報関係の博物館。郵便・貯
金・保険・情報通信・放送・国際通信
など幅広い通信分野をコンピュ
ター
機器などを利用して楽しく学べる。

「総合的な学習の時間」「食農教育」の総合情報センター NCL児童書センター

調べ学習や食農教育の本がいっぱい!

2000年の秋に農業書センターに併設。学校図書館の充実を願って、良書を発行する13の出版社による学校
巡回グループ「NCLの会」(自然と子どもを結び図書館の会)の図書をベースに、「食農教育」に関する図
書を展示販売する情報センター。店頭での購入だけでなく、地方でのカタログによる選書購入も出来る。
また、店頭での選書で地元の書店からの納入斡旋も受け付けています。詳しくは、NCL事務局(電話 03
3585 1142)までお問い合わせください。

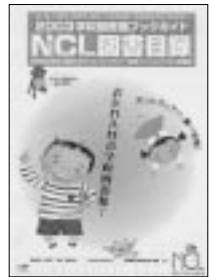
営業案内 営業時間 / 月~金曜日 朝9時から夕方6時 土曜日正午まで。休日は日曜日、毎月第2土曜日、年末年始。

食農教育関連の貴重な図書も仕入展示販売しています。

大型カラー・NCL図書目録(注文書付) 写真 プレゼントします。下記のアンケートにお答えください。

食教育、農業体験学習の現状をお教えてください。

- 1・下記の内、実施されているかどうか
a バケツ稲栽培 b ミニ田んぼ c 学校園 d 学校給食の素材を地域から導
入 e 農家などの社会人先生の導入 f 地方の農村や農家との交流 g その
ほか
2・学校図書館の図書整備について
a 今年の選書はどうする予定ですか
例年同様、取次ぎの展示会で1学期で選定・購入 各科からの選定によ
って年間にばらして購入 NCLセンターにも出かけてみたい
b 司書は設置されていますか
していない 設置する予定 既に設置済み
3・ラッカセイのタネ希望(本紙3面参照) 希望数量()
4・NCL図書目録の希望 希望する()部 不用(既に入手済み・他)
5・その他 ご意見を



住 所 (〒 -)
学 校 名 〃ご担当者名
電 話 〃E-mail

二大 体験学習講座 長野県 梅池高原で交流してみませんか?

自然体験学習講座



そう快な沢登り

子ども達にとって自然は学びの宝庫です。幾多の花や森を
その目で見、小鳥の鳴き声を聞き、名前を覚えることはもと
より、自然の大きさ、自然の雄大さなど、直接五感を通して
学習できます。また自然は、そのような学習のみならず、人
間として兼ね備えなければならない人格を育み、自己実現を
可能ならしめる最高の場を提供してくれます。
大自然を舞台に、多くの可能性を秘めた、さまざまな自然
体験学習のプログラムについて考え、プログラムを創り、自
ら体験し、そして評価する そんな研鑽の場を、教育にか
かわる学校の先生方をはじめ、自治体・民間の野外活動にか
かわる方々、そして活動を受け入れる宿泊施設の方々ととも
に持ち、「自然体験学習」並びに「総合的な学習の時間」の
モデルを構築することを目的とします。「自然体験学習講座」
では多くの自然体験をとおし、子どもの目線に立った学習の
指導法を体験的に修得する場としたいと思います。

第1回 里山講座

5月23日(金)~25日(日)
【内容】講演「里山の役割」講師:玉井装英男
氏(信州大学名誉教授、風土社主宰)【学習】
里山の役割について【体験】炭焼、キノコの植
菌

第2回 冒険講座

7月4日(金)~6日(日)
【内容】講演「冒険教育」講師:日本アウトワ
ード・パウンド協会(OBS)指導者【学習】冒険
から学ぶこと【体験】ロッククライミング、沢
登り、オリエンテーリング

第3回 危機管理講座

11月8日(土)~10日(月)
【内容】講演「野外活動における危機管理」講
師:佐藤知行氏(日本アウトワード・パウンド

協会ディレクター)【学習】リスクマネー
ジメントの視点について【体験】下見、調査による危
険回避活動をとおして、危険の予測、対処

講師は変更する場合があります。

参加資格 小中高等学校の教師、教育委員会
の職員、野外教育団体の職員、野外教育に興味
を持っている方、観光従事者、旅館・ペンシ
ョンの経営者

指 導 専門家、活動団体指導者、地元経
験者、OBS指導者、中島進作、志村貴子ほか
コーディネーター 日本アウトワード・パウン
ド協会長野校校長・木谷尚史

食農教育講座

「信州・つがいけ食農学習センター」は、食・農・環境の体験が自由にでき、整備された
食と農の図書やデータベースで体験の意味を深めていくことのできる「潜在型の体験学習
施設」です。
「総合的な学習の時間」で、地域と結んだ学習を生き生き進めていくために、この講座を
設けました。食と農の世界に深い造詣をもつ農家や専門家と教師が出あい、実体験を行な
いつつ、ダイナミックで奥ゆきの深い「総合」の展開を考えます。

第1回「食と農の体験学習 てんこもり」

7月30日(水)~8月1日(金)
7月30日(水)13:00から
総合的な学習の時間と食農教育について 立教
大学文学部教授・奈須正裕 / 学校や地域社会
における農作業体験学習の意義 信州大学
「ふるさと農場」の実践をとおして (予定)
更埴市立屋代小学校教諭・志村昌之 / 簡易炭
焼き窯をつくる・炭を焼く インストラク
ター・長野農文協
7月31日(木)
収穫体験(じゃがいも、とうもろこし、枝豆、
そばモヤシ)+そばの種播き体験 インストラ
クター・長野農文協 / 栽培学習 コツのコツ
浜松市立新津中・竹村久生 / 生きることの原
点「食」の体験 てんこもり(・竹筒でご飯
を炊く・ダンボールで燻製づくり・信濃の郷土
食 蕎麦を打つ、蕎麦のうんちくを学ぶ他)イ
ンストラクター・長野農文協 / 夜=食と農の
体験学習型野外パーティー
8月1日(金)
梅池自然園の自然を観察する 12時解散

第2回「楽しく 深まる 食と農の ふるさと学習 の手法」

8月7日(木)~8月9日(土)
8月7日(木)13:00から
この町でしかできない食農体験学習で、おばあ
さん達の自己発見と子どもの生き生き学習と
宮城県北上町の体験学習の実践から 民俗研

究家・結城登美雄 / 郷土食 おやきを教材と
した授業実践から(予定)長野市立榎ヶ岡中・
下育部 / 郷土食 おやきをつくる インス
トラクター・長野農文協
8月8日(金)
フィールドに出て、おばあさん達から食文化の
聞き取り調査 民俗研究者・結城登美雄 / 北安
曇の郷土料理を味わいつつ、おばあさんから昔
のくらしの循環型世界を学ぶ 話者2人 座長=
民俗研究者・結城登美雄 / 伝統の発酵食 み
そ、つとなつとうを仕込む インストラク
ター・長野農文協
8月9日(土)
塩の道を歩き、縄文からの歴史に心を馳せる
(予定)小谷村教育委員会・結城登美雄 12時
解散

*夜なべ仕事.....

上記2講座とも、ク
ラフト(ツル、ワ
ラ、布きれ、石な
ど)、織物体験等、
希望に応じて随時
参加資格 保育関
係者、幼・小・
中・高等学校の教
師、農家有志、行
政・団体関係者
(教育関係・農林漁
業関係)

ニジマスの燻製づくり

参加申込書 (必要事項をご記入のうえ、FAX、郵便、E mailなどでお申し込みください)

自然体験学習講座 第1回「里山講座」 / 第2回「冒険講座」 / 第3回「危機管理講座」
食農教育講座
第1回「食と農の体験学習 てんこもり」 / 第2回「楽しく深まる 食と農の ふるさと学習 の手法」

氏 名	〒	E mail
ご 自 宅	〒	TEL
		FAX
勤務先名・住所	〒	TEL
		FAX

募集要項 (2講座共通)

開催場所: 信州・つがいけ食農学習センター(長野
県北安曇郡小谷村梅池 農文協梅池セン
ター内 TEL.0261-83-2304)
受 講 料: 一般(受講料・宿泊代等込み)26,000円。
ご家族の同行者は宿泊代・食代(2泊6
食付き)17,000円+懇親会費。
学生15,000円+懇親会費。
主 催: (財)長野県農村文化協会、(社)農山漁
村文化協会
後 援: (予定)文部科学省、農林水産省、長野
県、長野県教育委員会、長野県農業協同
組合中央会、長野県小学校校長会、長野
県中学校校長会、小谷村など。
申 込 先: (社)農山漁村文化協会文化部
〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1
TEL.03 3585 1149 FAX.03-3585-6466
E-mail simizu@mail.ruralnet.or.jp